

京都蠟燭染の工程を体験

9月28日と29日の2回、せんとびゅあⅡにて京都蠟燭染(ろうけつぞめ)ワークショップを開催しました。

講師は京都市在住の染色家・岡本明彦氏。8月31日から9月29日までせんとびゅあⅠギャラリー2と、せんとびゅあⅡ館内天井に展示されていた作品をご覧になった方も多いかと思います。氏の作品は布を「漬けて染める」のではなく、ハケで着色する手法を用いており、鮮やかな色彩が特徴的。



薄い色から順に繰り返していきます。色がどんどん重なっていくため、例えば赤色に染めた後で青色を乗せると紫色になります。完成の色合いを想像しながら色を重ねる順番を考え、染色液を適切な濃度に薄めるのがプロの技。

ワークショップでは色が乗りやすい絹の布に下絵を描き、①筆で着色する、②140℃に熱した蠟でそれ以上色を重ねない部分を保護する、の工程を、

参加者は、用意されていた牡丹やブドウなどの植物や幾何学模様などの図柄を組み合わせたほか、自らの家紋を描いた人もおり、バラエティに富んだ作品が染め上がっていました。「定着」の工程は会場で行えないため、完成品は後日郵送。到着まで待つのも楽しみな時間です。

「放送」の知られざる裏側

10月5日、せんとびゅあⅡにて大雪山アーカイブス講演会「大雪山と放送よもやま話」を開催しました。講師は大雪山に関する取材を多く行ってきた浅井嘉一氏。NHK勤務時代にできた「お友達」とともに、知られざる放送の裏側を紹介しました。



員・清水敏一氏。氏が昭和53年に発行した、道内の212市町村(当時)の紋章(町章)を収録した『北の紋章』を紹介。この本をみた当時のNHK担当者が、まち自慢コーナーの導入として使用する看板の制作を氏の奥さんに依頼。4年間、毎週様々な材料を駆使して立体的に作られた紋章は、東京で展覧会を開くほど人気だったそう。

一人目は上川町の(梅風の便り)工房代表・佐藤文彦(やすひろ)氏。初期のテレビ番組制作に使われていた、ゼンマイで動かす16ミリカメラの実物を紹介。最後まで巻いても30秒しか回らず、テープも3分ほどしかないとか。初期のテレビ放送を支えた立役者です。二人目は大雪山アーカイブス専門

の制作を氏の奥さんに依頼。4年間、毎週様々な材料を駆使して立体的に作られた紋章は、東京で展覧会を開くほど人気だったそう。浅井氏は「今の放送を支えるのはみなさんのアイデアや今起こっていることの情報。ぜひ身近な話題をメディアに教えて欲しい」と番組づくりへの参加を呼びかけました。

フィン・ユールを深く知る

10月6日の第53回デザインスクールでは、東川町文化芸術コーディネーター・織田憲嗣氏が「家具の彫刻家 フィン・ユール」と題して講演。11月7日(休)まで札幌彫刻美術館で行われている同名の展覧会に合わせ、デザインの国・デンマークを代表するデザイナー

の一人であるフィン・ユールについて丁寧に解説しました。多彩な才能により建築家としても知られるフィン・ユールは、抽象彫刻から影響を受け、展覧会場などのインテリアデザインや



プロダクトデザインを多く手掛けた。シートが彫刻的な前期、フレームが彫刻的な中期を経て、後期はシート・フレームが直線的に。2脚のみ製造された「グラスホッパーチェア」(脚がバタのよう)や「世界で最も

美しい肘をもつ椅子」と言われる「イージーチェアNo.45」など、多くの独特な作品が存在します。ご本人と交流のあった織田氏より、知られざるエピソードも明かされました。11月16日(土)に『東川スタイル』著者の玉村雅敏氏と小島敏明氏を迎えるほか、24日(日)は織田氏による「デザインってなんだろう」を開催予定です。

FUNKIST20周年ツアーで東中吹奏楽部



▲中央が染谷氏、赤Tが東中吹奏楽部

いろんな国の人と一緒に盛り上がり、このマチは何か違う!と思ったという染谷氏の、「今日は大切な東川からもらった大切な一日。あの日の東川ヤバかったよね」と言えるように「精一杯演奏する」との言葉が印象的でした。東中吹奏楽部は、FUNKIST1年生の時から数度にわたり共演してきた3年生がこの日で見送となることもあり、3曲十アンコールをアツくコラボ演奏。ライブ終了後には染谷氏が3年生に向けて歌詞をアレンジした曲をアレンジトするサプライズもあり、お互いの心に刻まれる特別な日になったことでしょう。

めだかのクラブでハロウィンパーティー



▲ALTやCIRも仮装して参加

を挟んでジャンプしながらゴールを目指す) Ⅱ左の写真Ⅱ、怪獣の口(玉入れ)、ミニ射的などなど。ホーンテッドハウス(お化け屋敷)やフェイスペイント、バットクラフト(木製の洗濯ばさみで作るコウモリ)、魔法の実験コーナーもあり、年長小学生の子どもたちは一日中楽しみながらさまざまな体験をしました。

10月7日、せんとびゅあⅠ講堂で開催された「FUNKIST 20TH TOUR LION」のライブに東川中学校吹奏楽部とドートレトミシーが出演しました。

ツアータイトルのとおり、染谷西郷氏率いるFUNKIST(ファンキスト)は今年で結成20周年。全国34ヶ所のツアー中、この前日に旭川市で行われたライブに合わせ、唯一の追加公演として東川も組み込まれました。「東川で初めてライブしたとき、いろんな年代、

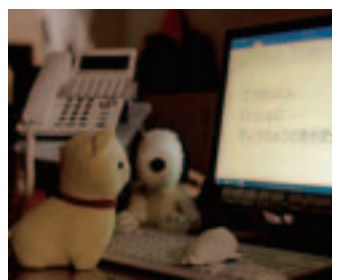
ぬいぐるみやおもちゃで絵本を讀んだよ

10月12日、ぬいぐるみお泊り会を開催しました。当日は集まった5組の親子に読み聞かせを行い、ぬいぐるみたちを寝かしつけていったお別れ。夜中になると、ぬいぐるみたちはせんとびゅあⅡの館内を探検。パソコンで子どもたちに向けたメッセージを打ったり、図書スタッフのお仕事を体験したり、警備員さんと遊んでみた

10月5日、改善センターにて「めだかのクラブ」が外国文化の体験活動の一つとしてハロウィンパーティーを行いました。ALT & CIRがいそいそと準備を進めていた。魔女のわな(標的は魔女の帽子) Ⅱ右の写真Ⅱ、かぼちゃ運びレース(足の間にボール

り。一番大事なミッションは、子どもたちに読んで欲しい絵本をみつかること。

16日にお迎えに来た子どもたちは、探検の様子をまとめたアルバムを受け取り、その大冒険に驚いたみたい。ぬいぐるみが一生懸命



▲いつも遊んでくれるおもちゃにメッセージ



▲せんとびゅあ芝生広場にも出てみました